

## 〈要求の基本的考え方〉

- 教育委員会では、市長と教育委員会で共有する「北九州市教育大綱」の方向性に沿って、SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成等を目指し、市民総ぐるみで子どもの教育を支える取組みを推進していきます。
- 「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づき、学校・教職員と教育委員会は、互いにコミュニケーションを図り、一体となって取組みを進めるとともに、家庭、地域、関係部局・市機関等と連携しながら各種施策を着実に推進します。
- 令和3年度は、新学習指導要領の着実な実施を図りながら、①教育用タブレット1人1台端末を活用した効果的な学習の促進、②SDGsが目指す「誰一人取り残さない」ための総合的な教育施策の実施、③コロナ禍においても、子どもたちが安全で安心して学ぶことができるよう感染症対策等に取り組み、子どもたちの学びを着実に進めていきます。同時に、「学校における業務改善プログラム(第2版)」を着実に推進し、教員が子どもと向き合う時間の確保に向けた不断の取組みを進めます。

## 時代を切り拓く力の育成

「北九州市学力・体力向上アクションプラン」に基づいた取組みを着実に実施し、学力・体力の向上を図ります。SDGsの視点を踏まえた地域教材資料集の作成等、本市の魅力を学ぶ機会を充実し、シビックプライドを醸成します。特別支援学校の整備など、全市的な視野に立った、特別支援教育の整備を進めます。

継 子どもひまわり学習塾事業  
継 学校の読書活動推進事業  
新 「特別支援学校配置看護師」配置事業

継 SDGs教育推進事業  
新 小中一貫教育検討事業  
継 小池特別支援学校整備事業  
 要求額 3,832 百万円(対前年度 +37.1%)



## 働きがいのある学校づくり

大量退職・採用時代に対応し、教員の確保と育成を進めます。「学校における業務改善プログラム」に基づく取組みを進め、子どもと向き合う時間の確保や教職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。

新 学校における業務改善コンサルティング業務  
新 ICTを活用した指導力育成を目指す教員の資質能力向上事業  
継 学校支援のための講師等配置事業  
 要求額 904 百万円(対前年度 +2.0%)



## 安心な学びの場づくり

長期欠席やいじめ等、早期化、複雑化する生徒指導上の課題や子どもの安全に対応するため、スクールソーシャルワーカーなどの専門人材の活用により支援体制を構築するとともに、防災・安全教育を進めます。

新 SDGs達成のための次世代型教育推進事業  
新 感染症対策のための衛生環境整備事業  
 要求額 656 百万円(対前年度 +23.7%)



## 市民総ぐるみでの支援

社会的・経済的な課題に対応し、早期からのセーフティーネットを構築し、家庭、地域、学校など市民総ぐるみで子どもたちを支援します。

継 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業  
継 子どもひまわり学習塾事業  
 要求額 199 百万円(対前年度 -5.0%)



## 未来を見据えた環境整備

ICTなど先端的な教育環境を整備し、教育とデジタルの融合に挑戦するとともに学校施設老朽化に計画的に対応します。

新 GIGAスクールサポーター配置事業  
継 学校施設老朽化対策事業  
 要求額 9,990 百万円(対前年度 +3.8%)



※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和3年度に実施することが確定しているものではありません。  
 ※ 各項目の要求額は、各項目の新規または拡充して取り組む主な事業の合計額です。